

## 事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：消防団本部広報車				
補助事業者名	瑞穂町				
実施場所	瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地				
補助事業の成果の目標	令和元年度に購入を予定している消防団本部広報車は、主として同年度に採用を開始した8名の女性消防団員により活用される。女性消防団員は消火活動には従事せず、町民に対して火災予防・救命技術向上のための広報活動を実施する。以上のことから消防団本部広報車を使用し、広報活動を実施することにより、町民の防災意識の向上を図る。				
補助事業の内容	消防団本部広報車購入				
補助事業の始期及び終期	令和元年度				
事業費及び交付金額		元年度			計
	事業費	4,125,000 円			4,125,000 円
	交付金額	3,500,000 円			3,500,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 整備完了後、町民に対して意見や感想を聴取し、広報車を整備して広報活動が実施されたことにより、町民の防災意識が高まったことを確認した。ポンプ車が入れない細い道路への進入、ポンプ車ではない消防車両の広報による注目度の高さなど、広報車ならではの効果があがった。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]  <ul style="list-style-type: none"> <li>・出初式の際の町内広報でポンプ車とともに町内を巡回</li> <li>・広報車側板に防衛省交付金事業である旨を表示</li> <li>・町の広報紙（2月号）に掲載</li> <li>・消防団広報誌（令和2年春号）に掲載</li> <li>・町のホームページに掲載</li> </ul> </p>				
事前の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	スポーツ又はレクリエーションに関する施設：公園遊具等設置工事（むさしの公園）				
補助事業者名	瑞穂町				
実施場所	むさしの公園（瑞穂町むさし野一丁目2番地）				
補助事業の成果の目標	<p>本事業を実施する「むさしの公園」は、周囲に都営住宅があり、東側には瑞穂第四小学童保育クラブ、むさしの保育園、武蔵野コミュニティセンター等の施設が隣接しており、老若男女の憩いの場として利用されている公園である。また、公園内は大きな樹木が多く、小山のような形状となっており、その周囲に遊具や健康器具が設置されている。</p> <p>本事業は、公園の特色である小山や大きな樹木を活用し、幼児から大人までが楽しめる地域コミュニティ形成の場となるよう、新たに滑り台を含む複合遊具施設を整備するものである。本公園の特色及び地域の特色を生かした公園へと整備することにより、住民の憩いの場としての環境の向上と公共の福祉の増進を図るものである。</p>				
補助事業の内容	公園遊具等設置工事（むさしの公園）				
補助事業の始期及び終期	平成30年度から令和元年度				
事業費及び交付金額		平成30年度以前	令和元年度	令和2年度以降 予定	計
	事業費	円 28,620,000	円 36,278,000	円 0	円 64,898,000
	交付金額	円 28,000,000	円 33,500,000	円 0	円 61,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 工事完了後に地域住民へアンケートを実施した結果、8割が今回の整備で設置された遊具について「良い」という回答であった。また、約7割が、「新しい遊具で遊んで楽しかった」という回答であり、利用者はむさしの公園の遊具について良い印象を持ち、楽しんでいることが伺える。</p> <p>このことから、住民の憩いの場としての環境の向上と、公共の福祉の増進を図ることができたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・工事期間中、工事看板に防衛省交付金事業である旨を記載 ・町の広報紙（4月号）・町のホームページに掲載</p>				
事前の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設：道路照明灯設置				
補助事業者名	瑞穂町				
実施場所	瑞穂町長岡地区				
補助事業の成果の目標	<p>瑞穂町内の多くの道路照明灯は、老朽化による道路照明灯内部の劣化により、照度も落ち、夜間の交通安全に支障を来している。</p> <p>平成29年度から令和7年度までの9年間で、瑞穂町内全ての道路照明灯約1,900基を、順次、LED道路照明灯に更新していき、瑞穂町内の交通の安全と円滑化を図る。</p>				
補助事業の内容	道路照明灯設置 令和元年度実施分 199基（既存照明灯のLED化198基、新設1基）				
補助事業の始期及び終期	平成29年度 — 令和7年度				
事業費及び交付金額		平成30年度 以前	元年度	2年度以降 予定	計
	事業費	90,860,400 円	38,973,000 円	300,914,880 円	430,748,280 円
	交付金額	82,000,000 円	33,000,000 円	261,000,000 円	376,000,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 長岡一丁目、長岡四丁目地区の町内会長に、整備前後の状況を聞き取った結果、LED道路照明灯の設置により道路が明るくなった、車や歩行者にとって安全な道路になったという意見をいただき、交通の安全と円滑化が図れたことを確認できた。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・工事期間中、作業車横に設置する看板に防衛省交付金事業である旨を記載 ・工事完了後、防衛省交付金事業である旨を道路照明灯に記載 ・町の広報紙（5月号）及びホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	環境衛生に関する事業：リサイクルプラザ運転業務委託運営事業基金								
補助事業者名	瑞穂町								
実施場所	瑞穂町大字箱根ケ崎1723番地								
補助事業の成果の目標	みずほリサイクルプラザは、平成15年の開所以来、家庭から排出される一般廃棄物のうち、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ及び粗大ごみの中間処理を行っている。特に循環型社会の形成を促進するため、容器包装プラスチック選別圧縮梱包施設では、日々、作業員による手選別作業により、品質の高いプラスチック資源を選別している。一般廃棄物の処理については、町に統括的な責任があることから、1日たりとも休止することはできない。そのため、この施設の機能を十分に発揮させるため、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、適切に安定稼働させていく。								
補助事業の内容	みずほリサイクルプラザの運営を外部委託する事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度までの間 基金の処分：平成29年度から令和8年度までの間								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額	基金 残額	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	8,000,000	0	0	0	8,000,000	0	8,000,000	0
	平成29年度	170,566,000	0	0	650	170,566,650	80,000,000	98,566,650	128,016,936
平成30年度	145,266,000	0	0	550	145,266,550	90,000,000	153,833,200	123,694,560	
令和元年度	28,000,000	0	0	1,000	28,001,000	90,000,000	91,834,200	115,665,889	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 家庭から排出される一般廃棄物のうち、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ及び粗大ごみの中間処理を行ってきた。搬入・搬出量を把握することで作業の効率化を図り、最終処分されるごみの減量及び資源化されるゴミの選別への取り組みに反映させた。特に循環型社会の形成を促進するため、容器包装プラスチック選別圧縮梱包施設では、日々、作業員による手作業により、品質の高いプラスチック資源が選別された。また、粗大ごみの受入れについても作業員による資源分別を行い、その品質向上に努めてきた。更に、リサイクル品として使用可能なものを選別し、販売することで地域住民へと循環され、この事業の重要性を周知させてきた。よって、適切に安定稼働できたことで、この施設の機能を十分に発揮させることができたことと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 広報誌及びホームページのほか、ごみ・資源物カレンダーやみずほリサイクルプラザのパンフレットに防衛省調整交付金を活用した旨を掲載しPRしている。また、施設見学者や視察に来られた方々へも施設の重要性についてPRした。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	通信に関する事業：ホームページ運用保守委託事業基金								
補助事業者名	瑞穂町								
実施場所	瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地								
補助事業の成果の目標	行政情報を発信する手段のひとつである町公式ホームページ及びCMS（コンテンツマネジメントシステム）等が、常時正しく作動し、災害時などでも支障なく、また、日々進化をとげているウイルス及びサイバー攻撃に対してのセキュリティ対策等への対応も含め、安定的に公開し続けられるようにするため、業者による運用保守委託事業を行う。								
補助事業の内容	瑞穂町ホームページの管理運営を委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度までの間 基金の処分：平成29年度から令和8年度までの間								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000	0
	平成29年度	11,000,000	0	0	80	11,000,080	4,000,000	8,000,080	6,220,800
平成30年度	5,000,000	0	0	440	5,000,440	4,000,000	9,000,520	6,220,800	
令和元年度	0	0	0	900	900	4,000,000	5,001,420	4,046,400	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 町民が必要とする暮らしの情報や行政情報、町の最新情報を安定して公開し続けるため、業者により運用保守委託事業を行い、年間を通じ一度も閲覧できない状況を発生させなかった。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ホームページ内で、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用してホームページの運営と保守を行っている旨を掲載した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	通信に関する事業：広報番組制作放送委託事業基金								
補助事業者名	瑞穂町								
実施場所	瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地								
補助事業の成果の目標	<p>広報紙やホームページのほか、ケーブルテレビで広報番組を放送して、町民が情報を取得する手段を増やすことにより、町政への理解・関心を高める。また、町職員の顔を覚えていただき、町行政を身近な存在ととらえていただくことで、住民サービス向上につなげる。</p>								
補助事業の内容	広報番組「みずほニュース」の制作及び放送を委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度までの間 基金の処分：平成29年度から令和8年度までの間								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	822,000	0	0	0	822,000	0	822,000	0
	平成29年度	11,000,000	0	0	70	11,000,070	3,500,000	8,322,070	3,650,400
平成30年度	7,000,000	0	0	449	7,000,449	4,380,000	10,942,519	4,745,520	
令和元年度	0	0	0	1,000	1,000	4,400,000	6,543,519	4,417,660	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕                  平成29年6月29日から、瑞穂ケーブルテレビで広報番組「みずほニュース」の放送を開始し、全72番組を制作した。番組は、2週間毎に内容を更新し毎日放送を行い、これまでの活字による媒体ではなく、映像と音声によって町の取組をPRすることができた。また、町民に職員に対する親近感を感じていただくように、数多くの職員が出演するように番組構成を考え、住民サービス向上につなげた。さらに、放送内容について、緊急性があるものについては直前に差替えるなど、住民に必要な情報を必要なタイミングで放送するよう対応した。                  放送が終了したものは、町公式ユーチューブに掲載することで、インターネットに接続可能なパソコンやタブレット、スマートフォンなどを通し、視聴エリア外にも広く発信できた。希望者には、DVDを貸し出せるようにDVDを作成した。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕                  広報紙「広報みずほ」令和元年9月号に、広報番組「みずほニュース」について、番組内容、放送日、放送チャンネル、放送時間、町公式ユーチューブのQRコード、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用して制作・放送している旨、「みずほニュース」に関する意見募集についての記事などを掲載した。さらに、令和2年3月号にも、広報番組「みずほニュース」に関する意見募集についての記事と、町公式ユーチューブのQRコード、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用して制作・放送している旨を掲載した。                  町ホームページに、町政情報内広報のカテゴリーの中に、広報番組「みずほニュース」のページを設け、番組の放送内容・動画配信（バックナンバーを町公式ユーチューブで視聴する方法）、DVDの貸し出しについて掲載した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：郷土資料館指定管理委託運営事業基金								
補助事業者名	瑞穂町								
実施場所	瑞穂町大字駒形富士山316番地								
補助事業の成果の目標	<p>瑞穂町郷土資料館けやき館は、平成26年11月の開館以来、町内外から多くの来館者で賑わい、瑞穂町を代表する集客施設となっている。特に、瑞穂町の自然を紹介する「狭山丘陵の再現」やプロジェクトンマッピングによる瑞穂町の生い立ちを紹介する「地形シアター」、上空1700mから撮影された航空写真「バースアイ」、隣接する米国防空軍横田基地に関するコーナー設置等、他の資料館では見ることのできない展示もそうであるが、魅力ある企画展、各種講演会、イベントなど日々何かしらの行事を仕掛けている運営が好評であり、これらの発想は指定管理者によるところが大きい。公の考えにとらわれない運営状況が、当館の入館者数に反映されている。これらの運営費等に補助事業を該当させることで、安定的な運営をベースに、更なる事業仕掛けを行うことで、瑞穂町の魅力発信につなげるとともに交流人口の増加に寄与することを目的とする。</p>								
補助事業の内容	郷土資料館の管理運営を委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度までの間 基金の処分：平成29年度から令和8年度までの間								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	2,500,000	0	0	0	2,500,000	0	2,500,000	0
	平成29年度	70,000,000	0	0	200	70,000,200	30,000,000	42,500,200	55,843,644
平成30年度	70,000,000	0	0	616	70,000,616	50,000,000	62,500,816	55,139,000	
令和元年度	0	0	0	1,000	1,000	30,000,000	32,501,816	57,587,098	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]                  瑞穂町郷土資料館けやき館では、年間を通して企画展や歴史講演会、親子で楽しめる工作教室や耕心館との連携事業（みずほ雛の春まつり・山野草まつり）など魅力ある事業を数多く実施した。また、町が進める「みずほきらめき回廊」の拠点施設として情報の発信、周辺自治体や施設と連携した事業の実施、各種団体等の協力、広報活動の充実を図りました。しかし令和2年2月29日以降、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、企画展・講演会等の行事を中止したことから、年間の来館者数が39,325人と前年比13.8%、6,341人の減少となりました。今後も、感染拡大防止の対策をとりながら、郷土資料館の運営を行います。                  館内に年間をとおして設置しているアンケート調査では、803名の方から回答をいただき、常設展示や展示の見やすさ、スタッフの対応などの項目で、「大変良い」「良い」という回答は96%を超えています。                  [地域住民への周知の実施状況]                  広報紙及びホームページへの掲載。郷土資料館館内に防衛省調整交付金を活用した旨をPRしています。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	教育文化施設：大型表示装置				
補助事業者名	瑞穂町長				
実施場所	瑞穂町地内				
補助事業の成果の目標	瑞穂町 I C T教育施設整備計画に基づき、子どもたちの情報活用能力の育成を目指し、I C T機器を効果的に活用し、児童・生徒の学習活動の充実を図ることを目的としている。その中で学校での要望も多くかつ効果的な取り組みとして、各教室に大型表示装置(モニター)を設置し、動画や写真を表示することにより、児童・生徒の理解を深める学習を行う。				
補助事業の内容	大型表示装置(液晶テレビ)設置 30台(付属品を含む)				
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和2年度				
事業費及び交付金額		30年度	元年度	令和2年度	計
	事業費	2,782,080 円	2,094,660 円	2,682,680 円	7,559,420 円
	交付金額	2,500,000 円	1,900,000 円	2,500,000 円	6,900,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]                      体育の授業で子どもを撮影し、拡大画像で必要なフォーム等を考えさせるなど、思考力・判断力・表現力を高めさせている。国語や算数では子どもたちの理解を深めるため、教科書の必要箇所を拡大した授業を実施している。理科では実験の動画、技術・家庭では実演動画を取り入れ、効果的に技能が身に付くようにし、実践的な授業を展開することが出来た。社会では各地域の写真や動画を見せて臨場感を伴う授業で子どもたちの創造力を醸成させている。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]                      みずほの教育2月号にて、防衛省補助金を活用して各学校へ大型表示装置を設置している事について写真付きで紹介する。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				